# 目次

<b>サステナビリティ経営</b> 3
マテリアリティ4
ステークホルダーエンゲージメント 14
社会
健康社会への新たな価値創出 19
イノベーションを通じた医療課題解決 19
医療アクセスの向上 一グローバルヘルス・UHC への取り組み一 22
責任ある製品・サービス・ソリューションの提供 31
品質と信頼の追求 31
サプライチェーンマネジメントの強化 40
魅力ある職場の実現
人材の育成 ―エンプロイージャーニー― 44
ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進 49
エンゲージメントの向上52
健康経営の推進57
社会貢献活動 62
社会貢献活動62
環境67
環境マネジメント
製品ライフサイクルにおける資源循環 78
事業活動における環境負荷低減 85

ガバナンス 91
<b>コンプライアンス</b> 93
コンプライアンスマネジメント 93
コンプライアンス推進の取り組み 95
リスクマネジメント 98
リスクマネジメント 98
事業継続に関わるリスクへの対応 109
情報セキュリティの強化
人権の尊重 112
人権の尊重 112
<b>社外評価</b> 115
<b>社外評価</b>
<b>社外からの評価</b> 116
<b>社外からの評価</b> 116
<b>社外からの評価</b> 116 サステナビリティ関連の評価・実績 116
社外からの評価       116         サステナビリティ関連の評価・実績       116         実績データ/第三者保証       119
社外からの評価       116         サステナビリティ関連の評価・実績       116         実績データ / 第三者保証       119         社会性データ       119

#### サステナビリティ報告に関する方針

シスメックスは、中長期的な価値創造の観点から、財務・非財務情報を簡潔にまとめた統合報告書「シスメックスレポート」を発行しています。「サステナビリティサイト」では、「シスメックスレポート」を補完する報告ツールとして、サステナビリティにおける重要課題(マテリアリティ)についての具体的な取り組みを網羅的に紹介しており、随時情報をアップデートしています。また、年度報告書として Web サイトの内容をまとめた「サステナビリティデータブック」を毎年発行しています。 Web サイト、データブックともに、すべてのステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントツールとして、網羅性を持っておよび自然資本については「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」と「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)」の提言に基づき、各種情報の開示を行っています。

#### 情報開示体系

財務情報	非財務情報	
統合報告書「シスメックスレポート」(年度報告書)		
株主・投資家情報サイト 財務情報や株式・株主情報を詳細に開示しています。 ・有価証券報告書 ・決算短信 など	<b>サステナビリティサイト</b> ・サステナビリティデータブック(年度報告書)(PDF) コーポレート・ガバナンスに関する報告書	

#### 参考にしたガイドライン

- ・GRI(Global Reporting Initiative) 「GRI サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- ・SASB(Sustainability Accounting Standards Board) 「SASB スタンダード」
- ・環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)
- TNFD (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)

## 対象組織

原則としてシスメックス(シスメックス株式会社および国内・海外グループ会社)を対象としています。本報告書中の「シスメックス」はシスメックスグループを、「シスメックス株式会社」は、シスメックス株式会社単体を指します。

#### 第三者保証

環境・社会データについて第三者保証を取得しています。

## ▶第三者保証

## 対象期間

2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日)を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しています。

※最新情報については、サステナビリティサイトで随時情報を アップデートしています。

#### 発行時期

2025年8月

#### 見通しに関する注意事項

本レポートに記載されているシスメックスの将来の計画・予測などは、現在入手可能な情報に基づくものであり、不確定な要素を含んでいます。これらの計画・予測と実績が大きく異なる可能性があります。